

【セミナー報告】

2015年3月24日 スチュワードシップ・セミナーを開催しました

スチュワードシップ研究会では、企業と投資家とのより良い「対話」のための環境整備のための情報発信活動の一環として、セミナーを開催しました。機関投資家だけではなく、企業のIRや株主総会の担当者、研究者など総勢150名強にご参加いただき、好評をいただきました。

このセミナーでは、大手運用会社で実際に企業との対話や議決権行使を行っているお立場から、東京海上アセット・マネジメントの徳田氏、大和住銀投信投資顧問の蔵本氏に、それぞれの会社におけるスチュワードシップ活動の考え方や実際の活動について、自らのご経験を踏まえてお話ししていただきました。



今回のセミナーは、コーポレート・ガバナンス・コード公表直後の企業も投資家も関心が高いなか、3月期決算企業の決算発表・株主総会に向けて「対話」が活発化する時期を前にして、多くの方々の参考にしていただけたものと考えております。また、講演の後に、会場の皆様からのご質問にお答えするセッションを設けましたが、会場からは予想を上回る多くのご質問をいただきました。

今回のセミナーは、コーポレート・ガバナンス・コード公表直後の企業も投資家も関心が高いなか、3月期決算企業の決算発表・株主総会に向けて「対話」が活発化する時期を前にして、多くの方々の参考にしていただけたものと考えております。また、講演の後に、

